

ひろい心 通信

水泳指導における感染症対策について

この2年間、新型コロナウイルスの感染状況から水泳の授業を実施することができませんでした。子どもたちが楽しみにしている夏の体育の水泳の授業、水に慣れ親しみ、浮く、泳ぐ技能を少しでも習得させたいと考えています。

そこで、本年度は子どもたちの健康と安全を第一に考え、密集・密接の場面を避けるなどの対策を講じた上で、水泳の授業を実施することとします。

具体的には、次のような点などに留意して、水泳の授業を実施します。

- ・ドアノブやシャワーの水栓など、手を触れる箇所は適宜消毒を行う。
- ・プール内で密集しないよう、一斉に大人数の児童が入らないようにする。プール内だけでなく、プールサイドでも間隔を保つようにする。
- ・授業中、手をつないだり、体を支えたりするなど、児童が密接する活動は避ける。
- ・更衣室については、プールの更衣室だけでなく、各教室及び家庭科室を使用する。
- ・プールサイドまでは、マスクを着用する。準備体操後に、マスクを袋に入れ保管する。

後日、お子様に、「安全なプール水泳にするために」というおたよりをお渡しいたします。そちらもご参照ください。ご心配なことがございましたら、学校までご相談ください。



小野江小学校の子どもたちの様子は下記のホームページで紹介しています。

<https://www12.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=c20200063>

「小野江小」を検索！スマホなら右のQRコードを読み取ってアクセス！

